



ほかほか給食でみんな笑顔に

益城町学校給食センターが再建され、同センターによる給食が一部再開

町学校給食センターが完成し、3月1日、津森小と飯野小で同センターによる給食の提供が再開しました。

同センターは震災により、地盤沈下や上下水道・ガスの配管断裂などが起こり、給食の提供が不能となりました。震災前から立ち上がっていた「学校給食センター建設検討委員会」が、震災の教訓を生かすべく検討を重ね、見学施設や防災施設を備えた施設として、現在の場所に移転するかたちで、再建を遂げました。

今回届いた給食は、食缶などが少し違い、配膳などで戸惑いはしたものの、おいそような給食を目の前にみんな大喜び。「いただきます」と元気に発声すると、にこにこ笑顔で、もりもりと食べていました。

また3月2日には、同センターの落成式が行われ、給食の一部事務委託をしていた熊本市の大西一史市長や関係者が参加、地権者代表の澤田アキエさん(蛭子町)と、施工業者に感謝状が贈呈されました。全小中学校での一斉配食は4月10日からです。



1 2 3ほかほかの給食です
4大きな釜で給食を作りますが見学できます
5感謝状を受け取る澤田さん
6テープカットのようす
7新しい給食センターの外観

雨でもにぎわいを見せた待望の初市

第30回木山初市が、木山横町通り一帯で開催

木山横町通り一帯で、3月2日・3日の2日間、「第30回木山初市」が開催されました。

元の場所に会場が戻り開催されたのは、今年で2年目。場所も内容も、震災前の初市に少しずつ戻りつつあります。

今年は3月には珍しく、初日の午後から雨が降り始め、2日目は傘を差しながらとなりましたが、町内外から約15,000人が訪れました。

去年に引き続き、益城ふるさと市場「はびまる」が共同開催され、毎回好評のステージイベントも、太鼓の演舞やキッズダンスのほか、お掃除ユニットクリアーズやヤッチロンヒーローズが登場するなど、より趣向を凝らした内容となりました。春を告げる町恒例のイベントが終わり、これから本格的な春がやってきます。



1 悪天候ながらにぎわう人々
2 市だごの売り場はいつも行列
3 初市を盛り上げるステージ
4 絵本カーニバルも開かれました
5 最後には来場者にお菓子が配られました